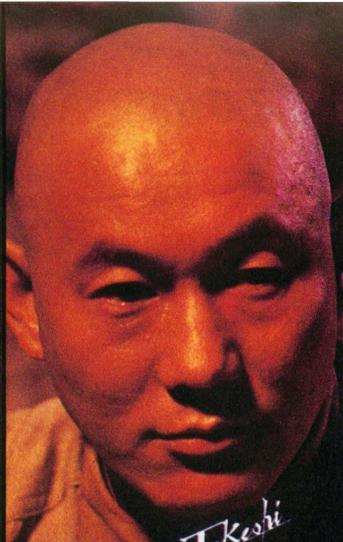




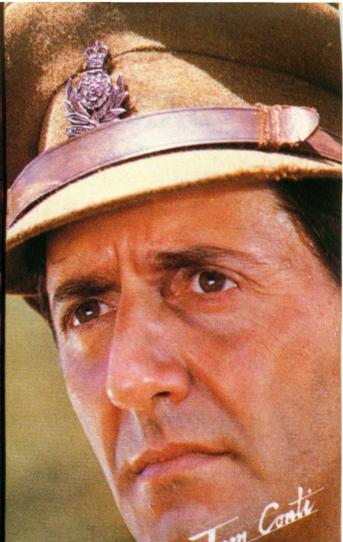
Ryūichi Sakamoto



David Bowie



Takeshi



Tom Conti

クリスマス メリキ 戦場の

■監督 脚本 大島渚 ■製作 ジェレミ・トーマス ■原作 サイロレンス・ヴァン・デル・ポスト
 ■撮影監督 成島東一郎 ■美術監督 戸田重昌 ■音楽 坂本龍一
 サントラ盤LP / ロンドンレコード ■主題曲 ヴォーカル・ヴァージョン / ビクターレコード

デビッド・ボワイ、坂本龍一、ビートたけし、トム・コンティ、ジャック・トンブソン
 大島渚プロダクション十テレビ朝日十レコード・ビクター十シネマ・エンターテインメント十シネマ・エンターテインメント提携作品
 〈カラー作品〉ドルビー・ステレオ / 松竹・富士映画共同配給  MERRY CHRISTMAS MRLAWRENCE

男たち、美しく...

いったい何が起こるのか?

デビッド・ボウイ、坂本龍一、ビートたけし、内田裕也、ジョニー大倉、三上寛のすごいメンバーを集めて大島渚はいったい何をやったのか?

「戦場のメリークリスマス」はこの男たちが、それぞれに思いきり自己主張した映画なのだ。それはすさまじい緊迫感と不思議な男の色気を漂よわせた、パワフルな映像となっている。

いったい何が起こるのか? 観る者は映画の最初から画面にきづけになる。男たちの美しさに感動する。そんな映画がこの「戦場のメリークリスマス」。

デビッド・ボウイが「グレート」と叫んだ。

ロケ地ラロトンガ島に広大なロケセットが組まれた。これはセットというよりは新しい捕虜収容所を建てたといった方が正しいようなものだが、この現場を一目見たデビッド・ボウイ。グレート!と叫んで美術の戸田重昌の手を握った。それから二ヶ月、このスーパ



ースターは役づくりに懸命。「僕の今迄の映画の中で一番自信がある」と語っている。

たけしの評判がやたらといい?

オールラッシュを見た直後、「こりやダメだ」とたけし。でも周囲の評判はうなぎ上り。「みんなお世辞をいいやがって」とたけし、外人のための英語版試写があった日、試写前に取材を受けるたけしをうさんくさそうにながめる外人たちが、終わったあと、目を赤くしながら、たけしに握手を求めに群がった。それでもまだテレにテレて画面を直視できないたけし。いつになったら「いい!」というのだろうか。

200時間もスタジオにこもった坂本龍一。

坂本龍一はもちろん主演者の一人だが、一方、この映画の音楽監督でもある。このテーマを一度聞くと、その不思議な魅力に引きつけられずにはおかない。当代随一の作・編曲家であり、プロデューサーでもある坂本龍一

キャスト

ジャック・セリアス(英国陸軍中佐)デビッド・ボウイ
 ヨノイ(日本陸軍大尉 俘虜収容所長)坂本龍一
 ハラ(日本陸軍軍曹)……………ビートたけし
 ジョン・ロレンス(英国陸軍中佐)……………トム・コンティ
 ヒックスリ=エリス(英国空軍大佐・俘虜長)ジャック・トンプソン

拘禁所長(憲兵少佐)……………内田裕也
 イトウ憲兵中尉……………三上寛
 カネモト(軍属)……………ジョニー大倉

ゴンドウ大尉(新俘虜収容所長)……………室田日出男
 軍律会議通訳……………戸浦六宏
 フジムラ中佐……………金田龍之介

の初の映画音楽は、ただ単に彼の天才が生み出したものではない。彼は200時間もスタジオにこもり、普通の日本映画の10倍以上という音楽予算とエネルギーを使った産物なのだ。

これが「戦メリ」だ。

さて、以上のように読んできても、一体どんな映画なのか、という人には、この映画のストーリーの導入部だけを教えよう。

〈禍々しき予兆——ここはジャワ。1942年日本軍捕虜収容所。こともあろうに軍属が白人兵を犯すという不詳事があった。鬼軍曹ハラは、連絡将校ロレンスを証人として連れ出し、所長に無断で切腹を命じる。しかし所長ヨノイが現われ、この切腹は中止。ヨノイは軍用ですぐバタバヤに…。そしてその軍事法廷で出会った捕虜、それがセリアスだった。これがすべての始まりだった……〉

ハラがビートたけし、ロレンスがトム・コンティ、ヨノイが坂本龍一そしてセリアスがデビッド・ボウイである。そしてラスト。誰もが感動し、涙する。それが「戦場のメリークリスマス」。



'83年カンヌ映画祭の話題が中心。

本年5月のカンヌ映画祭の正式出品が決定。日本のみならず全世界の注目を浴びているこの「戦メリ」の上映には、ボウイ、コンティはもちろん、たけし、坂本もカンヌへ参加して氣勢を上げる予定になっている。

製作費16億円はどこに。

製作費16億円、第二次大戦中のジャワの捕虜収容所と聞くと戦争映画だから金がかかるんだと早合点する人もいるだろうが、これは戦争映画ではない。400人からの出演者が出るモップ・シーンはあるが、大スペクタクル映画ではない。じゃ一体どんなジャンルの映画なんだといわれると、これはもうただ「この映画のあと『戦メリ』みたいな映画という表現が出来るだろう」としかいいようがない。巨額の製作費はすべて「本物」のために使われた。「本物」とは単に当時の復元ばかりではなく完全に「本物」を作ったのだ。

- スタッフ
- 監督・脚本 大島渚
 - 製作 ジェレミー・トーマス
 - 原作 サー・ロレンス・ヴァン・デル・ポスト
 - 撮影監督 成島東一郎
 - 美術監督 戸田重昌
 - 音楽 坂本龍一
- サントラ盤LP/ロンドンレコード
 主題曲 ヴォーカル・ヴァージョン/ビクターレコード
 MERRY CHRISTMAS MR. LAWRENCE

松竹・富士映画共同配給
 大島渚プロダクション+テレビ朝日 提携作品
 レコーディッド・ピクチャー/シネベンチャー
 カラー作品/ドルビーステレオ

戦場のメリークリスマス

5月下旬ロードショー

●特別鑑賞券 ¥1200 発売中!

渋谷東急文化会館1F
 パンテオン (407) 7219

新宿歌舞伎町
 ミラノ座 (202) 1189